

1 アクションプランの策定に当たって

(1) アクションプラン策定の趣旨

広島市には八つの行政区があり、区によって人口、地勢、産業構造、地域資源、歴史・文化などに違いがあり、地域が抱える課題も様々です。

安芸区では、区役所が区民に身近な行政窓口の役割を担うとともに、安芸区まちづくり支援センターを中心に、地域の特色を生かしながら、区民のみなさんの思いをより反映したまちづくりを進めることにより、住みやすさ・暮らしやすさを実感できるまちの実現を目指しています。

そのためには、区民のみなさんによる主体的なまちづくりの推進も必要不可欠になります。

そこで、区民のみなさんと区役所等がともに安芸区の今後のまちづくりの方向性を共有しながら、これまで以上に住民主体のまちづくりに取り組んでいくため、本アクションプランをまとめました。

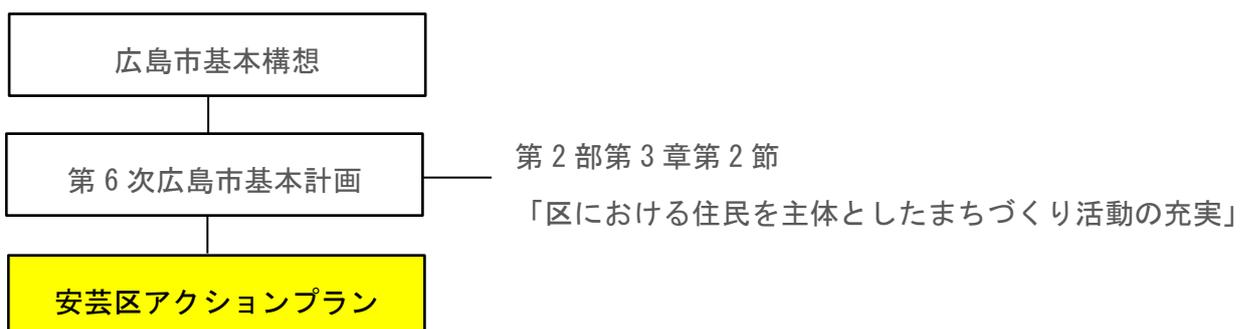
また、広島市では、200万人広島都市圏構想を掲げ、経済面や生活面で結び付きのある近隣市町との連携や交流によって、誰もが“住み続けたい”“住んでみたい”まちの実現を目指しています。安芸区においても、府中町、海田町、熊野町及び坂町を始めとした東部地域との連携や交流に積極的に取り組み、東部地域全体の活性化に貢献する取組を推進します。

(2) 計画期間

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とします。

(3) アクションプランの位置付け

本アクションプランは、第6次基本計画に掲げる「区における地域住民を主体としたまちづくり活動の充実」及び「まちづくりの方向性」を区民のみなさんと行政が協働して実現していくための計画として策定します。



2 安芸区の現状と課題

(1) 現状

ア 位置・地勢

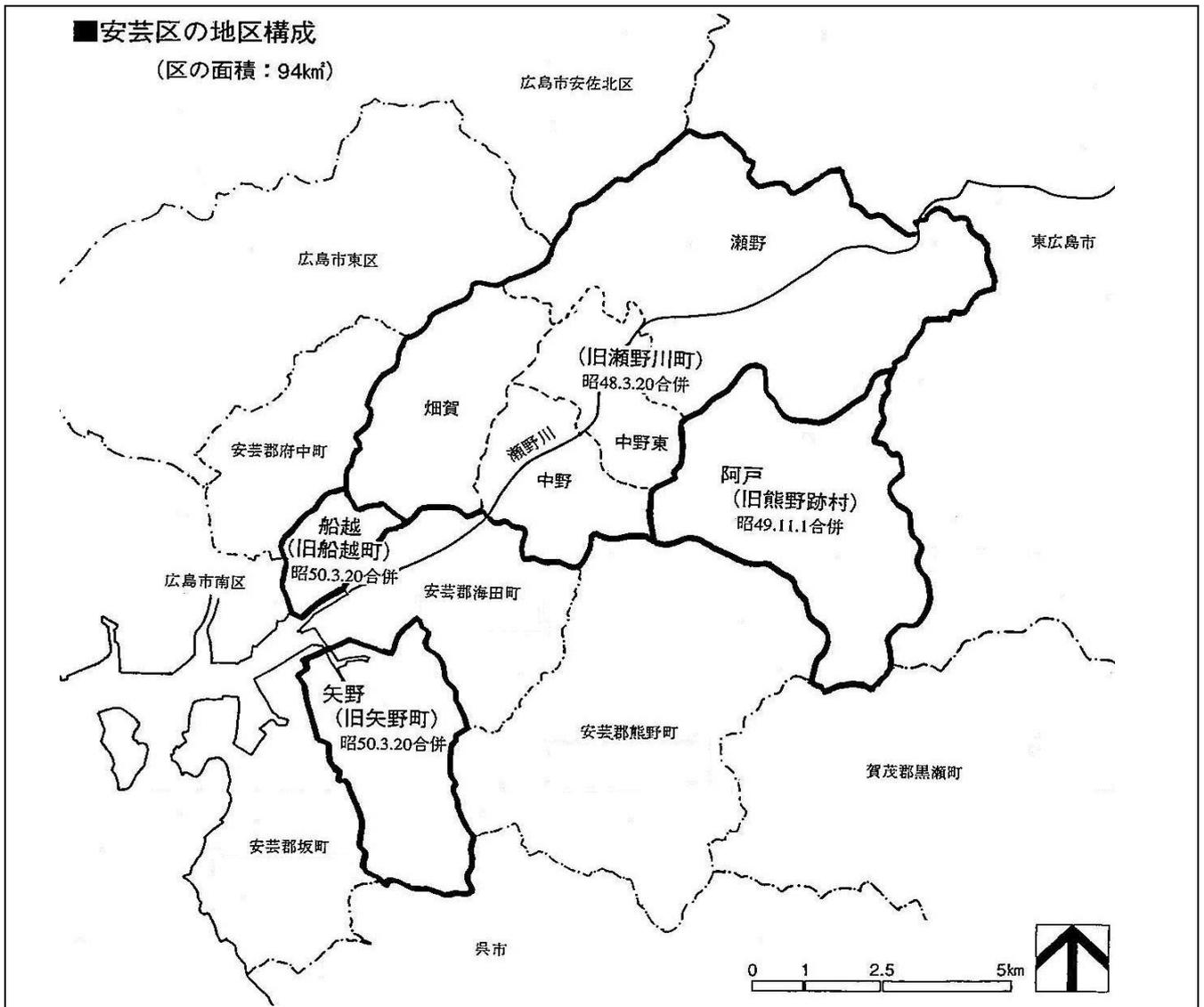
(ア) 安芸区の地区構成

● 合併前の旧4町を基本とした構成

- ・ 広島市の東端に位置し、面積は8区中4番目に広いです。(市全域の10.3%)
- ・ 昭和48年～50年に広島市と合併した、瀬野川町、熊野跡村(現阿戸町)、船越町、矢野町を基本として構成されています。旧瀬野川町は、さらに畑賀、中野、中野東、瀬野の4地区に分けられます。

● 矢野地区が飛び地

- ・ 矢野地区は呉市、安芸郡海田町、熊野町、坂町と隣接しており、行政区として飛び地になっています。
- ・ 隣接する南区、東区とで安芸郡府中町を取り囲んだ形となっています。



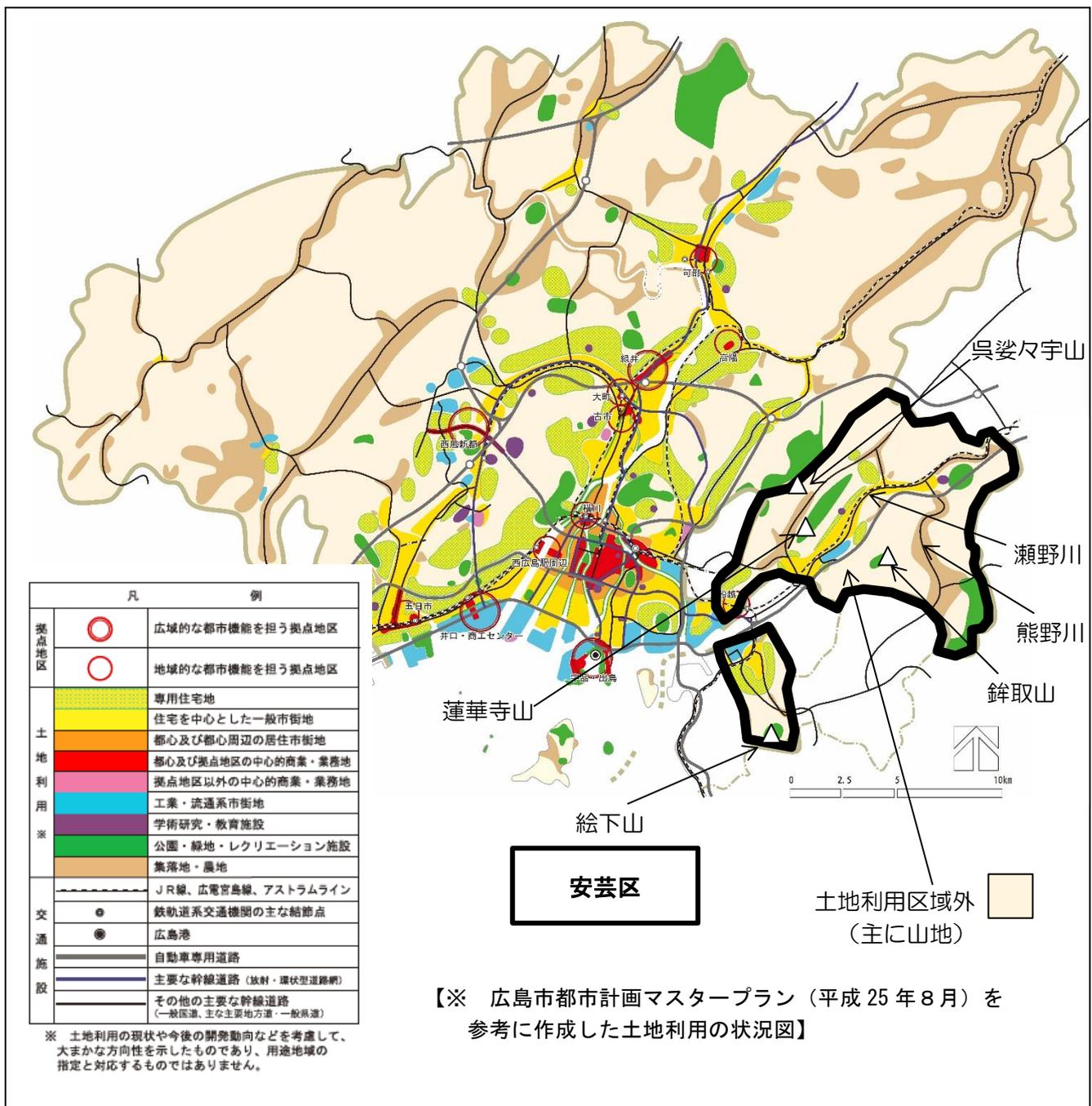
(イ) 地形

● 急峻な山と河川に沿った細長い谷による構成

- ・ 鉾取山 (711.5m)、絵下山 (593.0m)、蓮華寺山 (734.0m)、呉娑々宇山 (682.2m) に代表される比較的急峻な山地が並行して北東から南西方向に連なっています。
- ・ 区の中央を瀬野川が流れ、海田湾に注いでいます。

● 全体的に平地が少ない地形

- ・ 瀬野川、熊野川などの河川が流れる谷の部分に沿って、細長い平地が形成されています。瀬野川下流では海田湾を囲むように平地が形成されていますが、全体的に平地が少ない地形です。



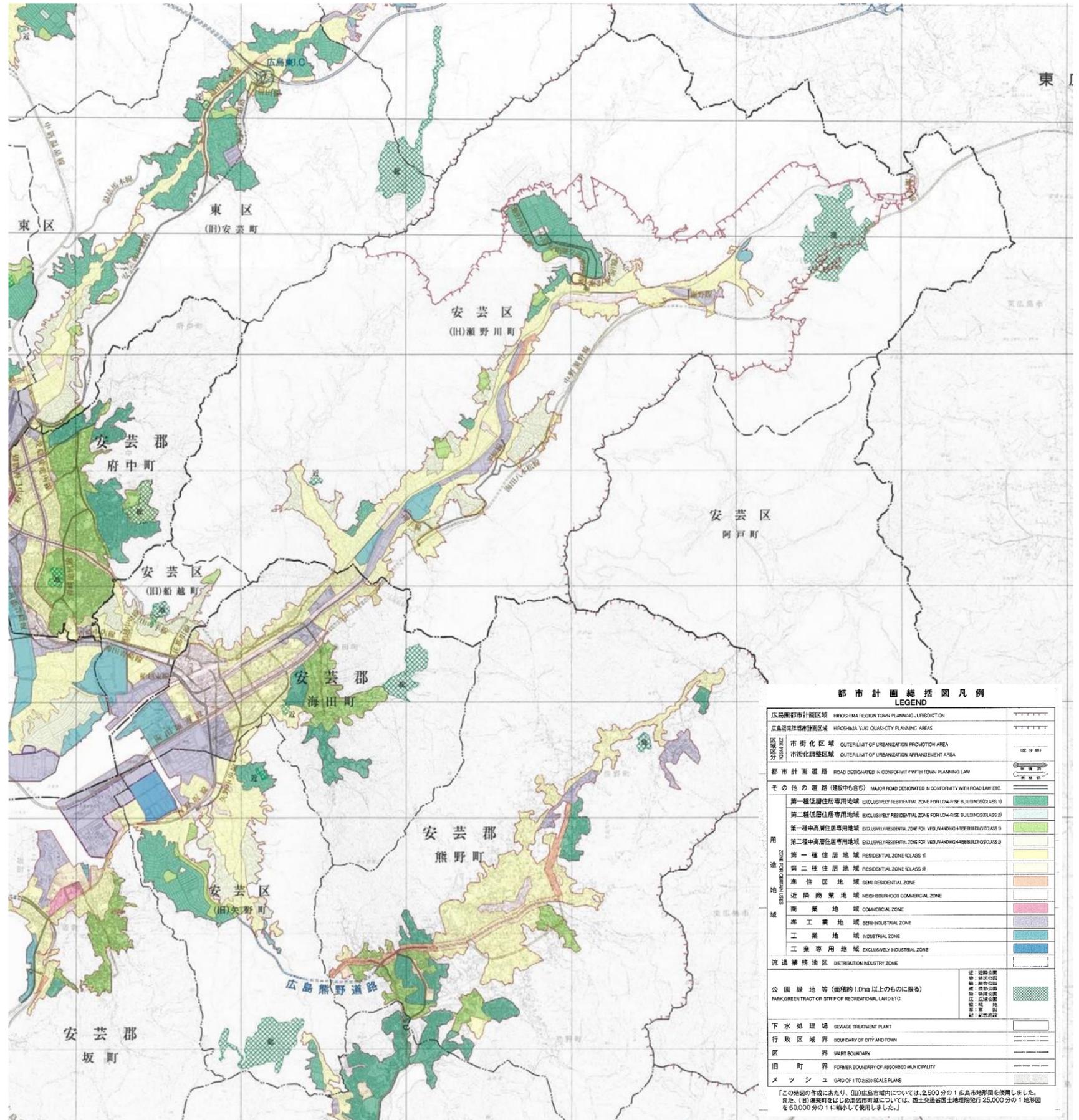
(ウ) 土地利用の状況

● 自然的な土地利用が多い

- ・ 区の面積の約7割が山林であるほか、瀬野川の河川敷、阿戸地区や瀬野川地区の農地など、自然的な土地利用の占める割合が高いです。

● 傾斜地に広がる市街地、海田湾を取り囲む工業地帯

- ・ 平地が少ないことから船越地区や矢野地区では密集度の高い住宅地が、中野地区から瀬野地区にかけては、瀬野川沿いの傾斜地に沿って住宅地が形成されています。
- ・ 矢野地区、瀬野地区においては大規模な住宅団地が形成され、新たな市街地が形成されています。
- ・ 工業系、商業系の施設は、埋立地を含む海田湾沿いに集積しています。



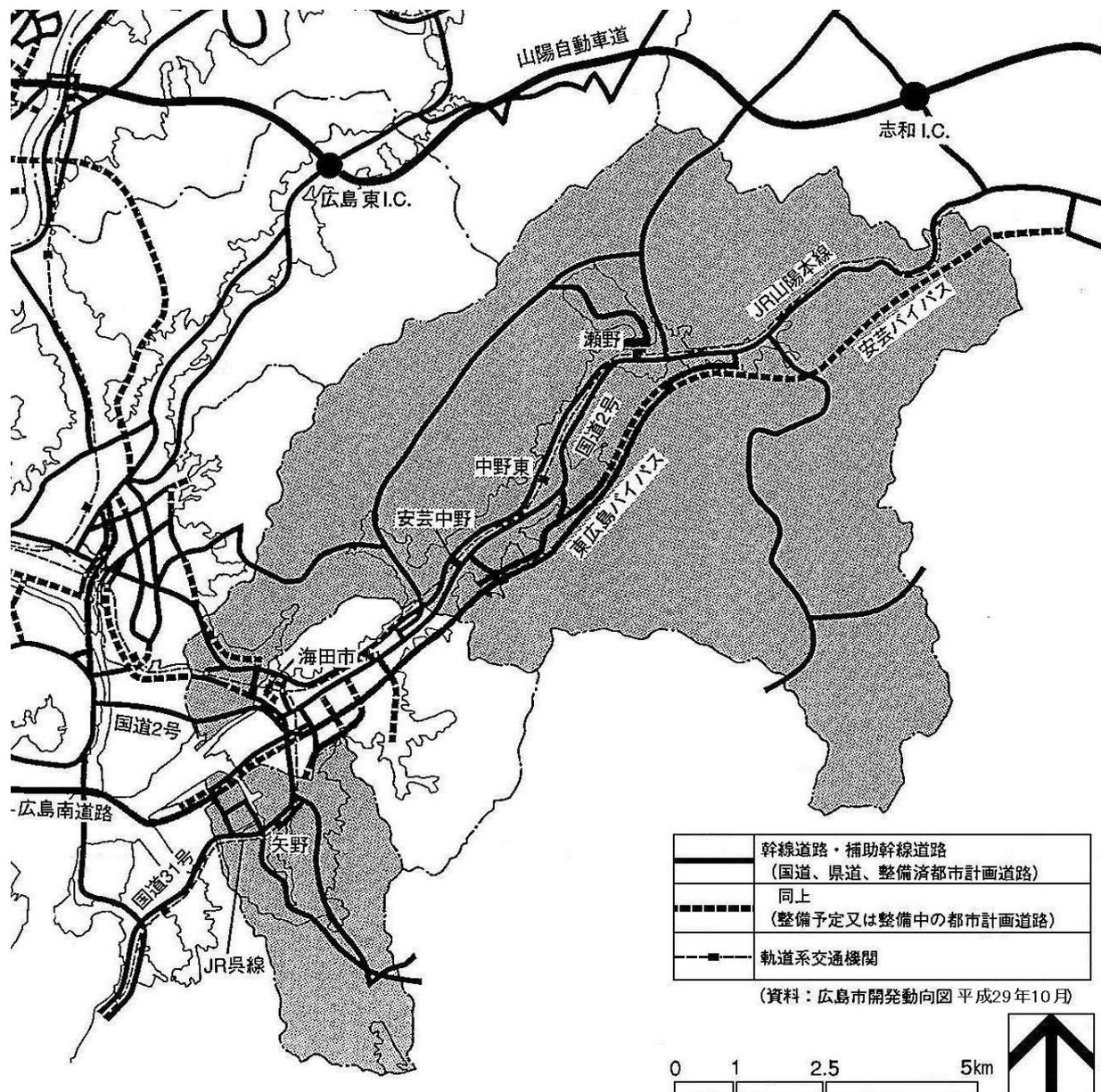
(工) 交通の状況

● 国道2号に交通が集中

- ・ 東広島方面と結ぶ国道2号、呉方面と結ぶ国道31号が主要な幹線道路です。
- ・ 区内各地区を横断する道路が少なく、幹線道路と生活道路が入り組んでいるため、交通が集中する国道2号は非常に混雑しています。
- ・ 地形的な制約が要因となり、隣接する市、区、町との連絡性が良くない状況です。
- ・ 東広島バイパス、安芸バイパスや広島南道路を始め、これらに関連した連絡道路網の整備が進められており、交通環境の改善が期待されています。

● JR山陽本線、呉線が運行

- ・ 2本の幹線道路と併走するようにJR山陽本線、呉線が通っています。混雑度が高い幹線道路とともに、通勤・通学などの重要な手段となっています。



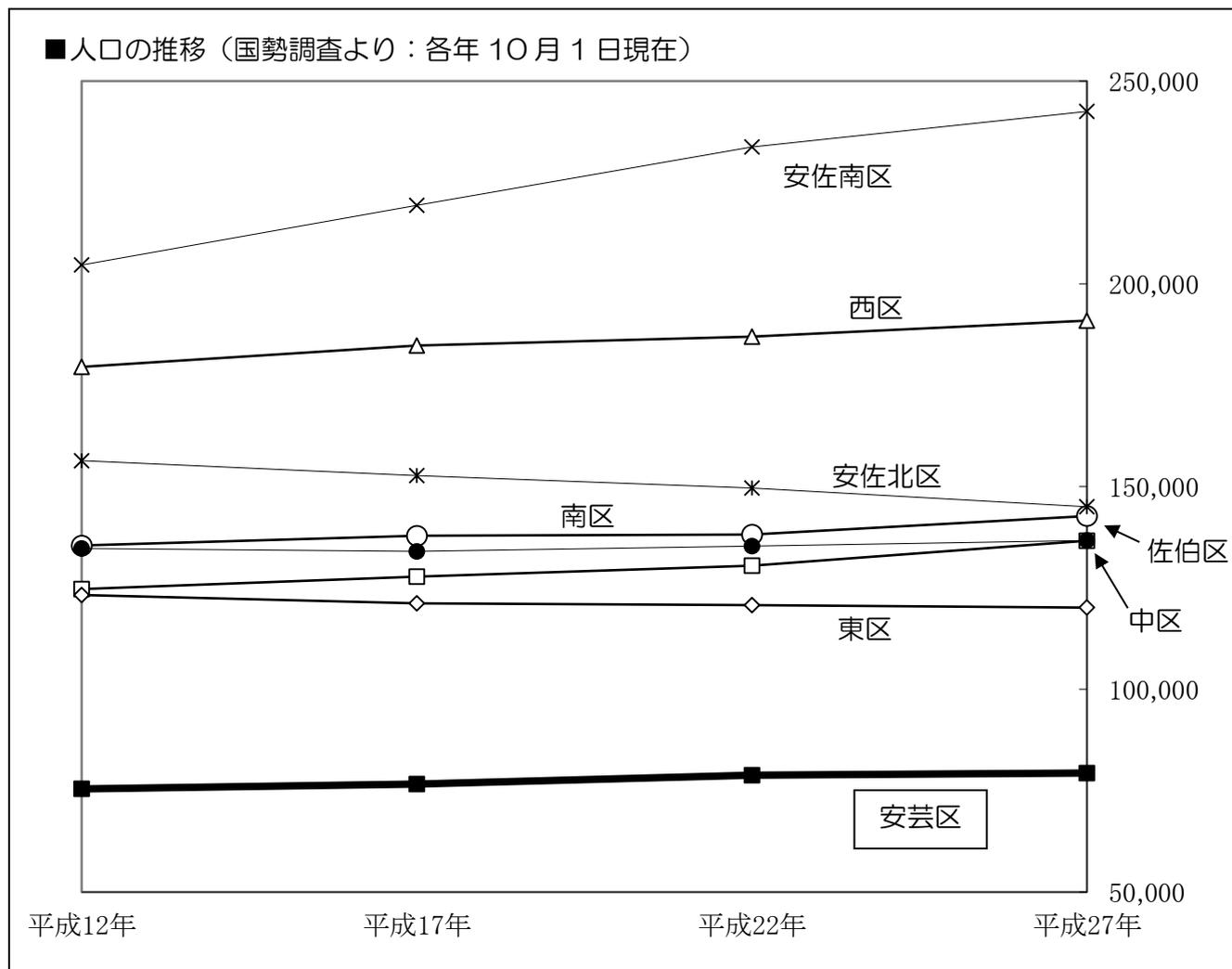
イ 人口・世帯

(ア) 人口の推移

● 区の中では最小の人口

- 平成 27 年国勢調査の安芸区の人口は 7 万 9,353 人で、漸増傾向にありますが、8 区の中では最も少ないです。

(単位：人)



(単位：人)

区 分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
全市	1,134,134	1,154,391 (1.8%)	1,173,843 (1.7%)	1,194,034 (1.7%)
中区	124,719	127,763 (2.4%)	130,482 (2.1%)	136,640 (4.7%)
東区	123,258	121,222 (▲1.7%)	120,751 (▲0.4%)	120,155 (▲0.5%)
南区	135,467	137,874 (1.8%)	138,190 (0.2%)	142,728 (3.3%)
西区	179,519	184,795 (2.9%)	186,985 (1.2%)	190,929 (2.1%)
安佐南区	204,636	219,343 (7.2%)	233,733 (6.6%)	242,512 (3.8%)
安佐北区	156,387	152,716 (▲2.3%)	149,633 (▲2.0%)	145,018 (▲3.1%)
安芸区	75,435	76,656 (1.6%)	78,789 (2.8%)	79,353 (0.7%)
佐伯区	134,713	134,022 (▲0.5%)	135,280 (0.9%)	136,699 (1.0%)

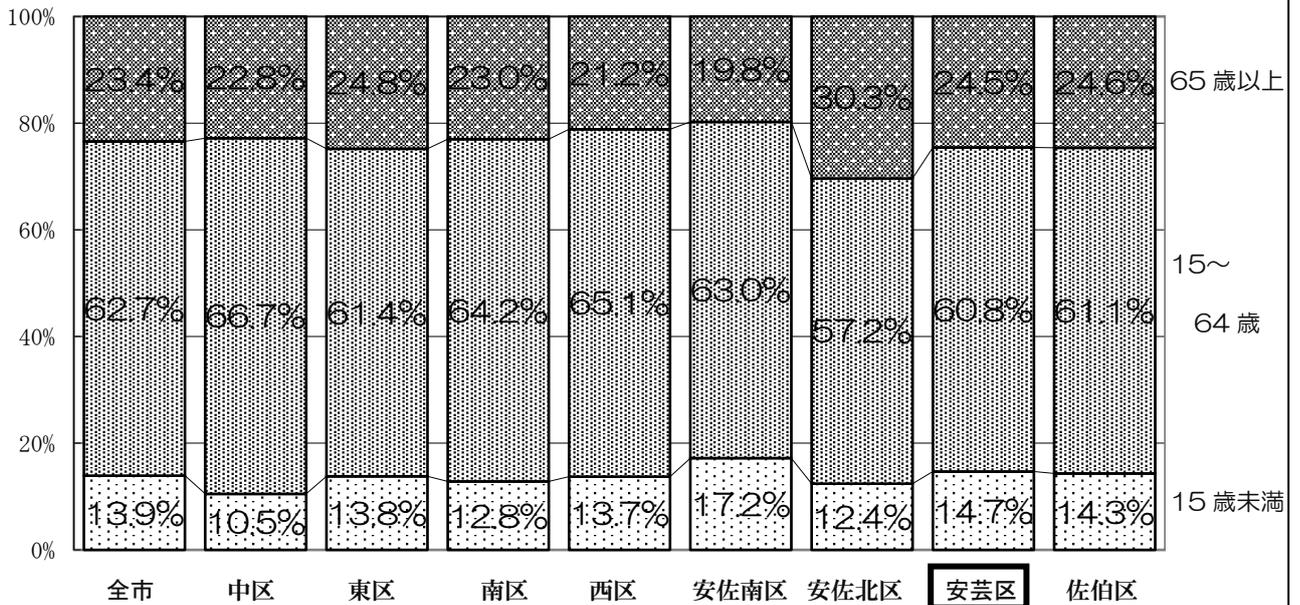
() 内は、対前回増減比

(イ) 年齢層別人口

● 少子化・高齢化が進展

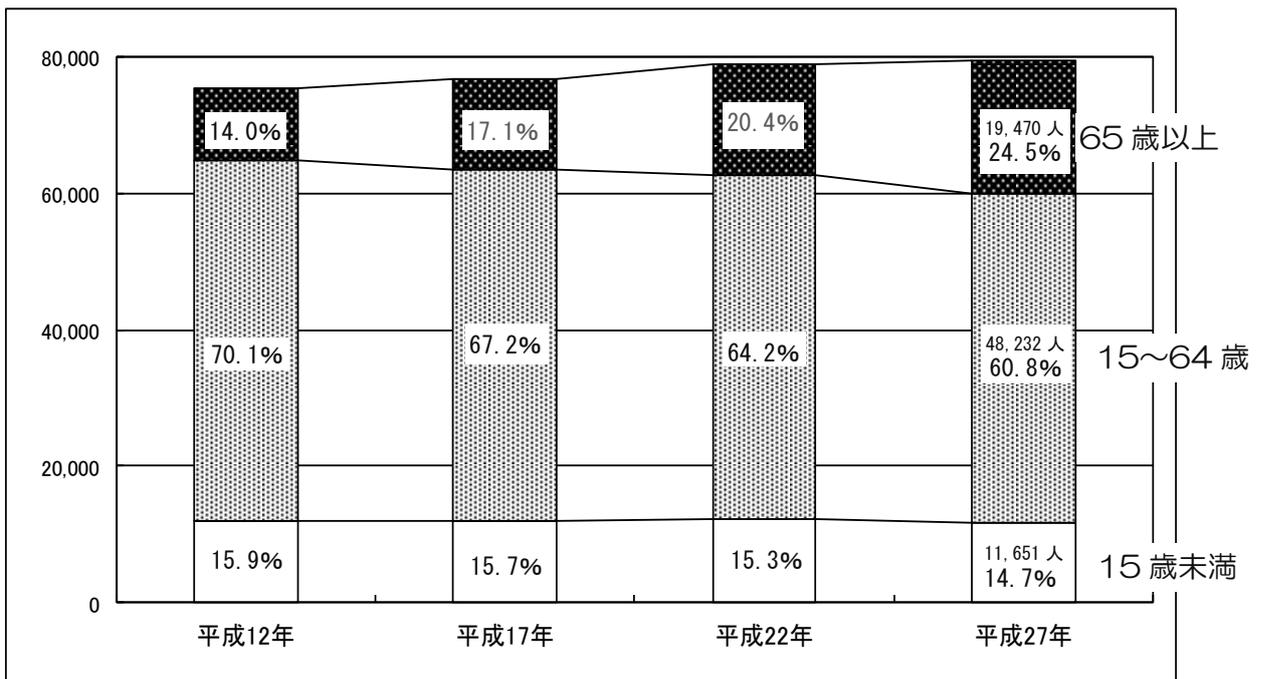
- ・ 全般的に各年齢層とも、全市平均とほぼ同じ傾向ですが、15歳未満の若年者層の割合は、旧市域の区に比べてやや多くなっています。
- ・ 平成12年から平成27年にかけての年齢層別割合をみますと、全市の傾向と同じく、65歳以上の高齢者層が伸び、15歳未満の若年者層が低下しています。

■ 区別人口の年齢層別構成比（3区分）（平成27年国勢調査より）



注) 少数点以下第2位で四捨五入しているため、必ずしも合計が100%となりません。

■ 安芸区人口の年齢層別構成比（年齢3区分）の推移（国勢調査より）

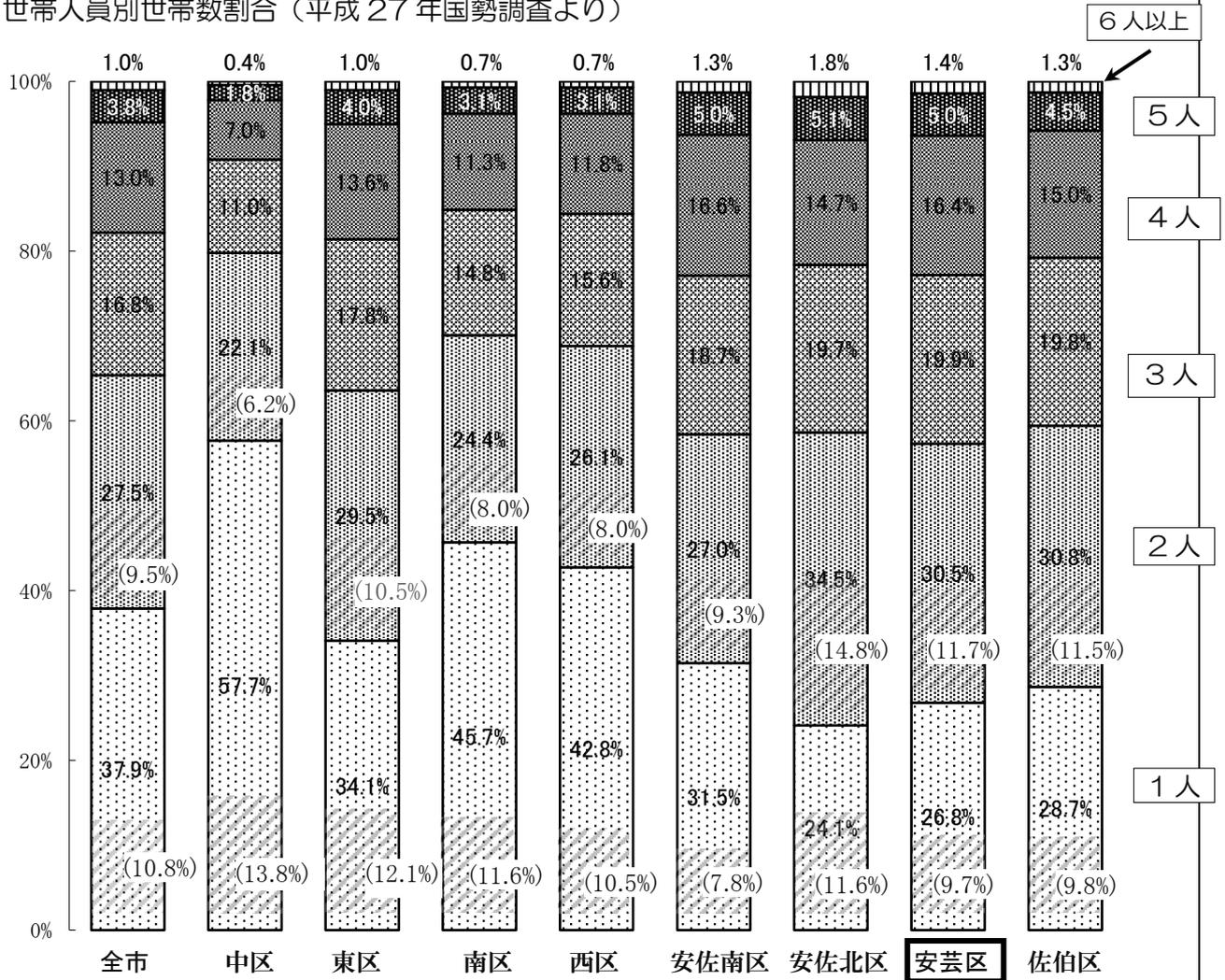


(ウ) 世帯の状況

● 単身世帯から4人世帯まで平均している世帯構成

- ・ 旧市域の区では、単身世帯の割合が著しく高くなっていますが、安芸区では、他の新市域の区と同様に、3人～4人世帯の割合が高くなっています。

■ 世帯人員別世帯数割合 (平成27年国勢調査より)



注) 1人世帯のうち の部分は、65歳以上の1人世帯。()内は全世帯数に占める割合。)

注) 2人世帯のうち の部分は、夫婦とも65歳以上の世帯。()内は全世帯数に占める割合。)

注) 少数点以下第2位で四捨五入しているため、必ずしも合計が100%となりません。

ウ 産業

(ア) 産業構成

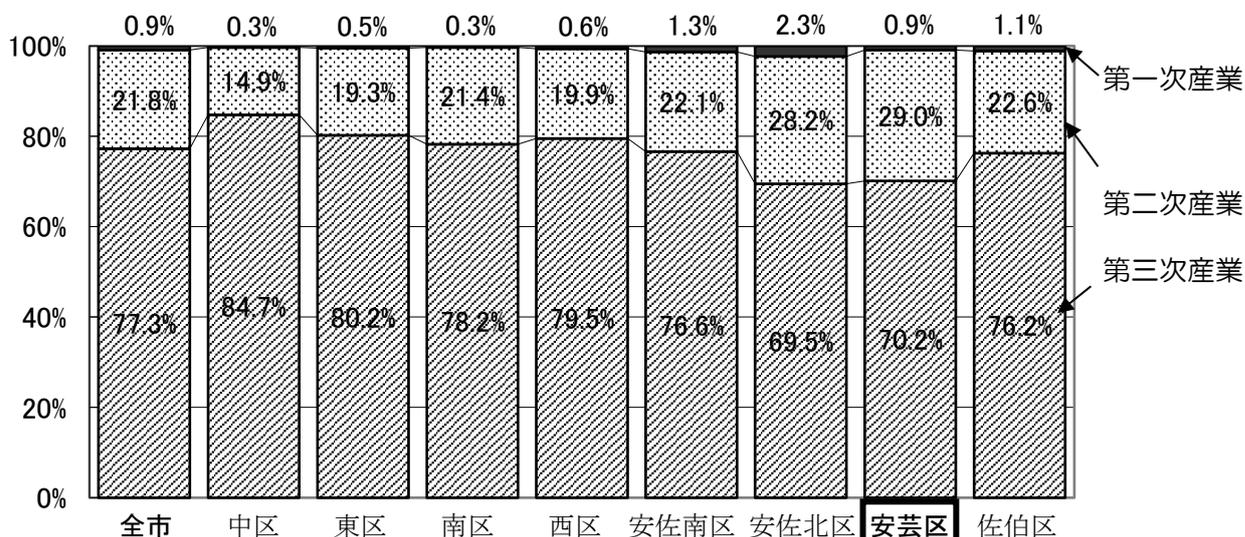
● 第二次産業で働く人の割合が高い

- ・ 安芸区内で働く人は、第二次産業（工業・建設業）で働く人の割合が 8 区中最も高く、第一次産業（農林水産業）の割合は安佐北区、安佐南区、佐伯区に次いで高くなっています。
- ・ 第三次産業（商業・サービス業）で働く人の割合は安佐北区に次いで低くなっています。

● 区外への通勤者が多い

- ・ 自分が住んでいる区内で働く人の数は 8 区中最も少なくなっています。「安芸区から働きに出ている人」が「安芸区に働きに来ている人」を大きく上回っており、ベッドタウンとしての性格が見られます。

■ 区別の産業別構成（平成 27 年国勢調査より：就業人口）



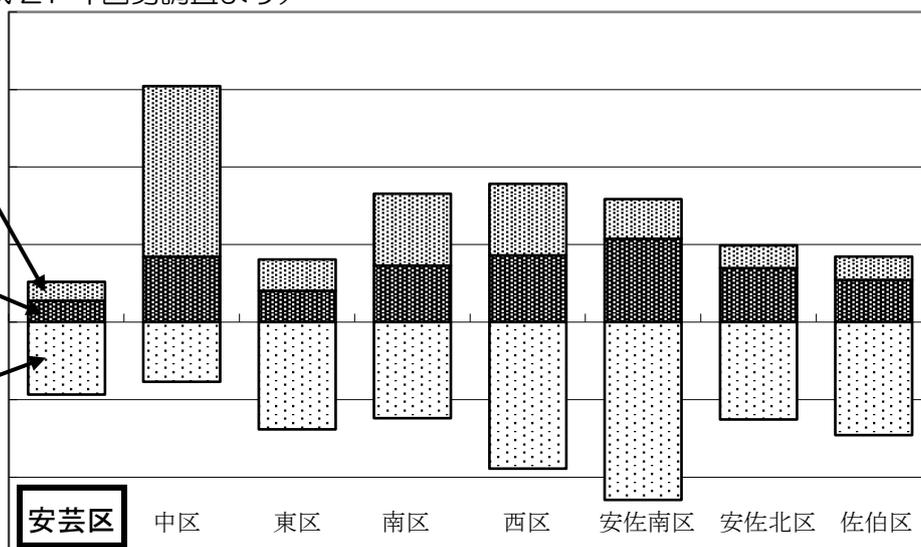
注) 総数には調査不能を含むため、必ずしも各産業の合計が 100% となりません。

■ 就業者の通勤状況（平成 27 年国勢調査より）

区外から安芸区に働きに来ている人
(12,226 人)

安芸区に住んでいて区内で働いている人
(13,788 人)

安芸区から区外に働きに出ている人
(46,735 人)

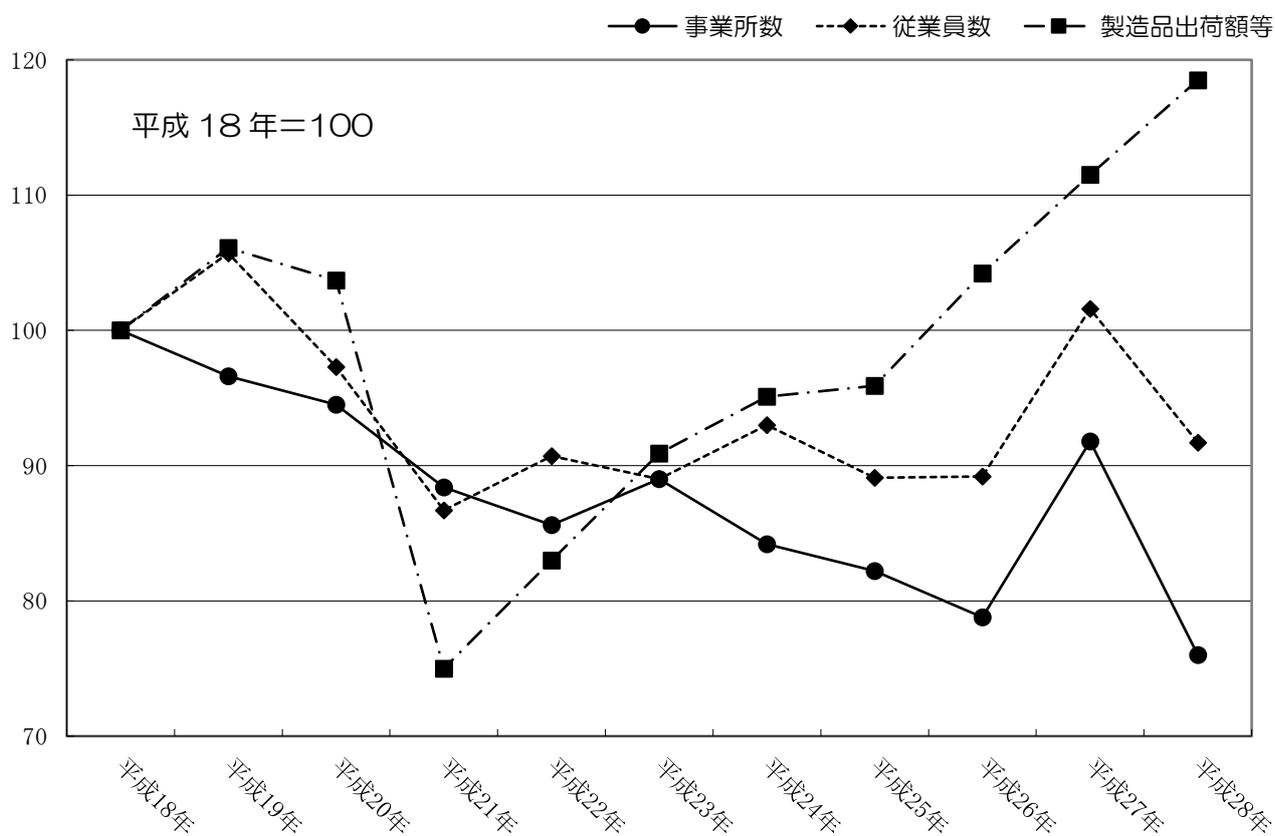


(イ) 工業の特徴

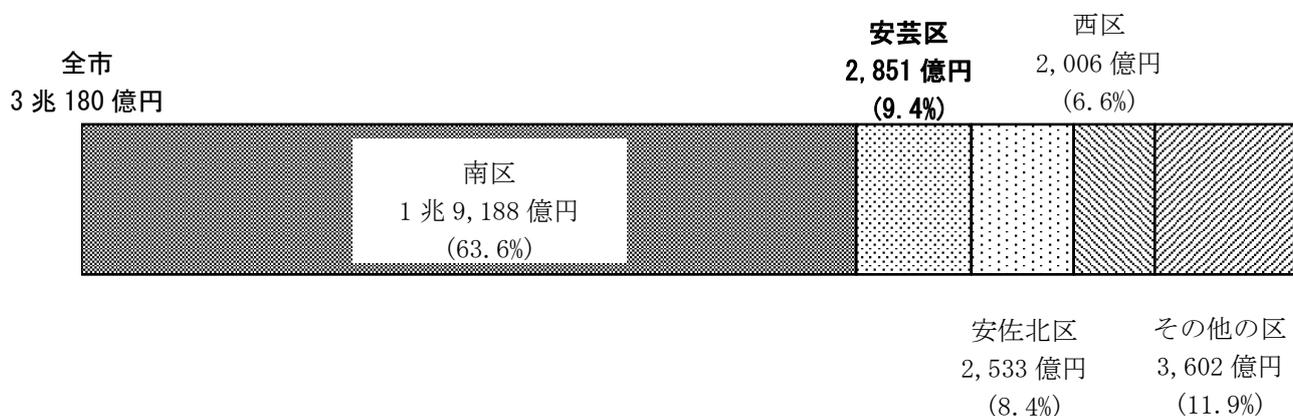
● 製造品出荷額は8区中2番目に多い

- ・ バブル崩壊後、低調に推移しましたが、近年、製造品出荷額等が増加に転じています。
- ・ 安芸区の製造品出荷額は、約2,851億円で広島市全体（約3兆180億円）の9.4%を占め、8区の中では2番目に多くなっています。また、その内訳は、生産用機械器具製造業（約1,284億円）と輸送用機械器具製造業（約981億円）で79.4%を占めています。
- ・ 安芸区の人口1人当たりの製造品出荷額は南区に次いで2番目に多い359万円で、人口規模に比べて工業のウエイトが高いことがうかがえます。

■安芸区の事業所数等の推移（平成18年～平成28年工業統計調査より）



■製造品出荷額等の広島市に占める割合（平成28年工業統計調査より）

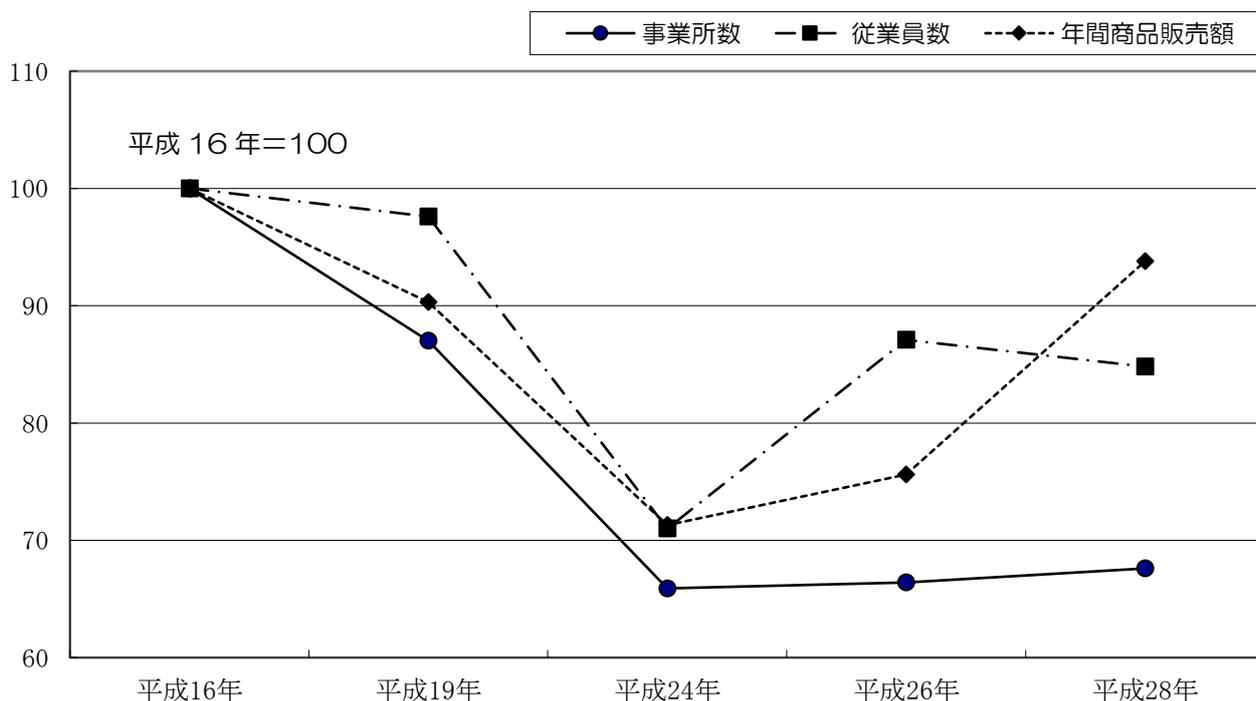


(ウ) 商業の特徴

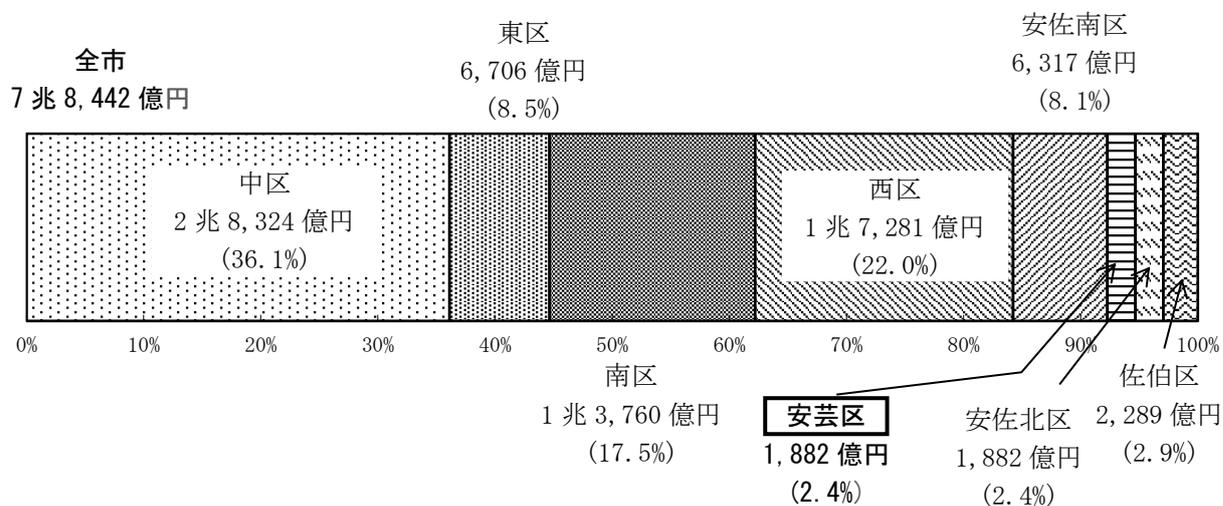
● 近年の年間商品販売額が増加傾向

- ・ 安芸区の事業所数、従業員数、年間商品販売額は、バブル崩壊以後、低調に推移し、減少傾向にあります。近年の年間商品販売額は増加傾向にあります。
- ・ 安芸区の年間商品販売額は、約 1,882 億円で広島市全体（約 7 兆 8,422 億円）の 2.4% を占め、8 区の中では 6 番目となっています。

■安芸区の事業所数等の推移（商業統計調査より）



■年間商品販売額の広島市に占める割合（平成28年商業統計調査より）



(2) 特性

ア 位置は、広島市東部にあり、安芸郡府中町、海田町、熊野町及び坂町などと境を接しており、住民相互の交流や経済面、生活面での結び付きが深いです。

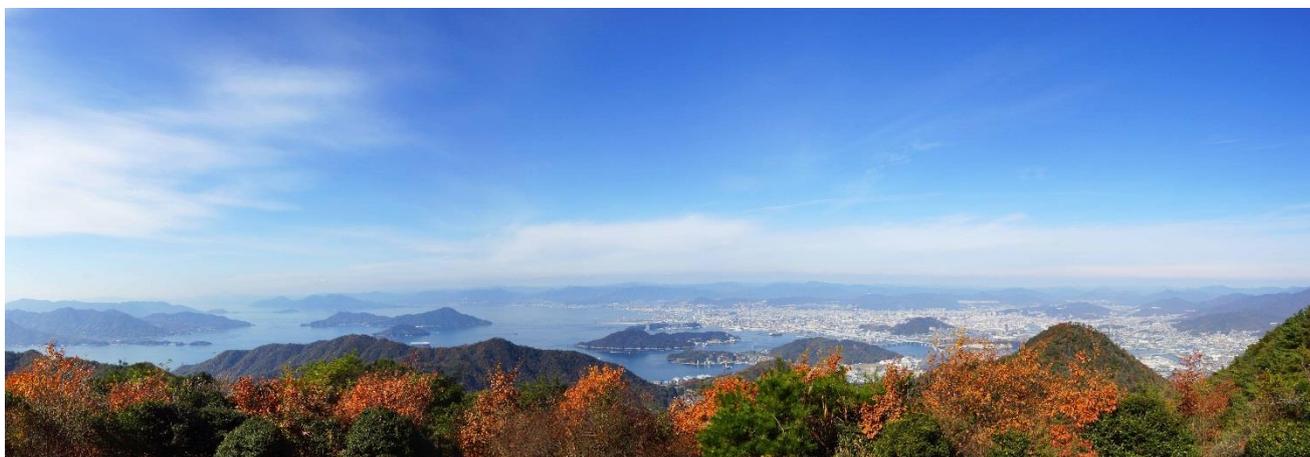
イ 自然は、岩滝山や呉娑々宇山、水ケ丸山、小田山、鉾取山、絵下山などの山々に囲まれ、北東部から南西部にかけて瀬野川が流れるなど、区民に憩いと潤いを与える豊かな自然環境を有しています。

ウ 地勢は、面積の約 7 割を山林が占めており、山の斜面まで住宅が折り重なるように建ち並んでいます。船越地区や矢野地区などの平地部でも、幹線道路を逸れると道路が狭あいで、住宅がひしめき合うように建っています。瀬野及び矢野の両地区では、山間部を切り開いた大規模な住宅団地が造成されており、それぞれ新しいコミュニティが形成されています。

エ 交通は、本市都心部と東広島市方面を結ぶ国道 2 号及び J R 山陽本線が、また、本市都心部と呉市方面を結ぶ国道 31 号及び J R 呉線が通っています。

オ 人口は、約 8 万人と 8 区の中で最も少ないです。年齢別では 65 歳以上の高齢者の割合が年々増えているとともに、高齢化率は全市平均を上回り、8 区中 4 番目に高いです。

カ 産業は、他の区と比較して、工業や建設業などの第二次産業従事者が多く、また、海田湾沿いの埋立地には工業団地や流通団地が形成されており、経済情勢に応じて製造品出荷額や商品販売額等が増減しますが、近年はいずれも増加傾向にあります。

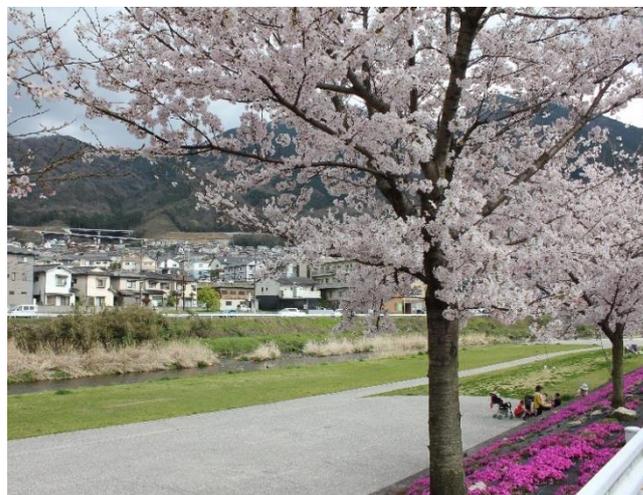


(3) 地域資源

ア 瀬野川は、熊野川や畑賀川などの支川を含め、安芸区を特色付ける自然資源です。河川敷への遊歩道の整備もあいまって極めて親水性が高く、日頃からウォーキングや、ピクニック、水鳥や水生昆虫等の観察などで多くの市民が憩う場となっているほか、中野・中野東地区では住民自らが桜や芝桜を植栽し、維持・管理を行うなど、自然環境を生かした良好な景観・風致を形成しています。また、河川敷広場では祭りや花火大会等が開催され、地域コミュニティの拠点として活用されています。

イ 区民まつりや区民スポーツ大会など全区民を対象とする文化・スポーツイベントは、旧4町村（船越町、瀬野川町、熊野跡村、矢野町）の地域住民が交流を深め、区民としての連帯意識を醸成する場となっています。

ウ 瀬野川にほぼ沿うように、江戸時代の昔、京都と九州を結んだ『西国街道』が通っており、沿道には由緒ある神社仏閣などの史跡が点在するなど、郷土の歴史をうかがい知ることができます。





(4) 身近な課題

ア 高齢化の進展に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しており、清掃や買い物、ごみ出しなど日常生活面での支援のほか、災害時における避難支援の取組等が重要な課題となっています。

イ 町内会・自治会その他地域団体では、担い手の高齢化や慢性的な人材の不足に直面しており、持続的・継続的な活動が困難になりつつある地域団体が増えています。

ウ 買い物先の大規模店舗志向やインターネット販売の活用、後継者不足等により、地域では商店が減っており、交通手段を持たない世帯、インターネットを利用しない世帯等が買い物難民化しており、日常の暮らしに大きな不便が生じています。また、こうした商店は、商品流通のみならず、地域のにぎわいづくりの面で果たす役割が小さくないことから、商店の減少は地域コミュニティの衰退に直結する問題として有効な対策が求められています。

エ 山々に囲まれた安芸区では、猪や鹿、猿などにより農地が荒らされる被害が続出しているほか、住宅街にも出没しており、園児・児童を始め住民の安全を脅かす存在として大きな社会問題となっています。

オ 少子化・高齢化や核家族化の進展、集合住宅の増加等による新旧住民の混在などにより、世代や地縁の異なる住民間の交流が乏しくなっており、地域コミュニティの維持が困難になっています。